

2008年度 愛媛大学法文学部 「愛媛県中小企業家同友会・提供講座」

テーマ:経済学特講・「現代中小企業論～若者と共に創る中小企業の未来～」

毎週木曜日・第5時限(16時20分～17時50分) 4階・大講義室

	時限	テーマ	講師
1	10月2日	○提供講座のガイダンス ・なぜ提供講座か ・中小企業の実態と役割を学ぶ意義	湯浅良雄 愛媛大学副学長
2	10月16日	○シンポジウム 地域再生と中小企業	パネラー:広浜泰久 中同協幹事長
3	10月23日	○事例・食糧危機に対応する中小企業(中小企業の実際を知る) ・愛媛の食文化を守る商品開発	田中正志 義農味噌(株)社長
4	10月30日	○事例・食文化を守る人づくり経営(中小企業の実際を知る) ・おいしさと本物にこだわり続ける	真鍋明 (株)マルブン社長
5	11月13日	○そもそも中小企業とは(中小企業の定義) 中小企業の現状と果たす役割	国吉昌晴 中同協専務幹事
6	11月20日	○中小企業での学びのスタイル～グループ討論～	小林克己(大阪同友会) 小林クリーンサービス代表
7	11月27日	○中小企業の歴史①～初期からバブル崩壊まで～ ・中小企業はどうつくられてきたのか	赤石義博 中同協顧問
8	12月4日	○中小企業の歴史②～バブル崩壊以降～ ・中小企業はどうつくられてきたのか、その未来は	赤石義博 中同協顧問
9	12月11日	○人間尊重こそ中小企業経営のスタイル(中小企業の魅力) ～ワーキングプアの中での中小企業の果たす役割～	上野修(京都同友会) (株)アドバンス社長
10	12月18日	○事例・女性の視点を生かした経営(専門を知る) ・人の一生を支えられる企業とは	本田美紀 (有)オルソ本田取締役
11	1月15日	○事例・福祉の現場では(専門を知る) ・福祉こそ、人間を育て、地域をつくる	杉本太一 特別養護老人梅本の里施設長
12	1月22日	○事例・経営のあり方を世に問う～理念とモノづくり～ ・安心と安全と希望に満ちた経営	宇高昭造 泉製紙(株)社長
13	1月29日	○まとめ ・(レポート作成)	湯浅良雄 愛媛大学副学長

<2008年10月から13講座、90分授業で報告は60分強、企業実践とその意味・時代背景>

○講座目的: 生きた経済や経営を学ぶことで日本経済の仕組と、中小企業の全体像(歴史、魅力、役割、強み、弱み)が理解でき、特に若者と共に歩むことが中小企業の未来をつくる鍵である講座。

○昨年の講座運営をふまえ、中小企業の実態を学びながら、学び方を知る(グループ討論を活用します)事に挑戦します。